

## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日  
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30 ~ 13:30  
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL (0566) 22-2111  
FAX (0566) 25-2111  
メール kariyac@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 小川 耕 示  
幹事 丹 羽 克 誌  
会報委員長 石 川 友 美

2022 ~ 2023年度 国際ロータリー ジェニファー E. ジョーンズ 会長テーマ

IMAGINE ROTARY イマジン ロータリー

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第3177回例会プログラム

[当年度=16回目；当月=3週目]

2022年（令和4年）11月21日(月)

## 1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:00 〈食 事〉  
12:28 1. チャイム  
12:30 2. 点 鐘……………〈副会長〉  
3. 開会宣言  
4. ロータリーソング斉唱  
……………それでごそロータリー  
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
6. 副会長挨拶並びに副会長報告  
7. 幹事報告  
8. 出席報告  
9. 委員会報告  
10. ニコニコボックス報告  
11. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(11/28) ……  
卓話 『社風の良い会社作り』あってはなら  
ないものと、なくてはならないもの  
講師 有限会社キャリア・サポート  
代表取締役 三厨 万妃江 様  
(紹介者 嶋津 孝久 会員)  
(12/5) ……  
新会員アワー 前田 春実 会員  
" 宮川 清 会員

## 2. クラブフォーラム……………〈ロータリー財団委員会〉

- 13:00 卓話「ロータリー財団を活用しよう」  
地区ロータリー財団委員会  
委員長 高山 景一 様  
(豊橋 RC)  
(紹介者 深谷 嘉英 会員)  
12. 謝 辞  
13. 点 鐘……………〈副会長〉  
14. 閉会宣言  
13:30 15. 散 会

## 出 席

会員総数 101名 出席免除 26名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 91名  
欠 席 12名 出席率 86.81%  
前々回 (11/7) の修正出席率 100%

## 幹 事 報 告

- 1) 先日の職場例会の際にトヨタ紡織100年史のダイ  
ジェスト版を頂きました。そのフル版を頂きました  
のでご披露させて頂きます。事務局に置かせて頂  
きますのでご覧になって下さい。

## 副会長あいさつ

南 康



めっきりと寒くなってきました  
が、皆様、お風邪などめしておら  
れないでしょうか？

暦の上では、あさってから「小雪」  
(寒さが加わり、雨が雪になり初雪  
の便りが聞ける) となります。暦  
といっても1月から12月までの太

太陽暦ではなく、7世紀から日本で使われはじめた太陰太  
陽暦、いわゆる旧暦と呼ばれるものです。

新暦といわれる現在の暦、太陽暦とは1か月早くなっ  
ていますので、少し違和感がありますが、秋の11月と思っ  
ていると旧暦では前半にすでに「立冬」、後半が「小雪」  
となるわけです。旧暦は起点が立春、立夏、立秋、立冬  
の年4分割ですが、農作業などの目安に季節の移り変わ  
りを表す指標として「24節気」が作られました。立春か  
らはじまり大寒まで半月ごとのくりです。更にこれを  
5日毎に区切ったものが「72候」です。これは、3~4  
文字の文になっています。

今週からの11月下旬は新暦ではまだ秋ですが、旧暦で  
は冬、24節気は「小雪」、72候では初候（最初の5日）  
が虹蔵不見（にじかくれてみえず）で虹が現れなくなる  
頃。11月28日からの次候は、朔風払葉（きたかぜこのは

をはらう)で北風が木の葉を散らす頃。12月3日からの末候が橘始黄(たちばなはじめてきばむ)でゆずやみかんが黄色く色づきはじめる頃となります。5日毎に表記される文化はすごいと思いますし、24節気の気と72候の候をあわせて「気候」という単語にしてあるというのも素晴らしいと思います。

さて、せっかくですのもう少し今の季節を考えてみましょう。「小春日和」の小春は旧暦10月の異称で、立冬を過ぎたころ春のように暖かい日が続くことで、先週末までがそうでした。英語はIndian Summerとなり、夏になるのが、これまた文化でしょうか。

また帰り花といって桜、山吹、つつじなどが時期はずれに咲きます。季節の鳥は千鳥、旬の魚介は牡蠣と蟹。旬の野菜は蓮根で「蓮根掘る」は秋の季語になっています。

私は母がお茶とお花の師匠でしたので、昔から横でみていましたが、秋の茶室での茶花で花入に投げこむのは、副(そえ)には西王母 椿、路地菊、真(しん)には灯台躑躅と書くどうだんつつじ、別名満天星ともいいますが、これか万作の紅葉雪柳でしょうか。

ついでに、夜の星の話もしましょう。

今、夜の7時頃でしたら南天の高いところに白く明るい木星(マイナス2.6等級)、その少し西側土星(0.7等級)が輝いており、西の空は夏の大三角といわれる織姫星などがみえています。これが夜の10時頃になりますと東から真っ赤な火星(マイナス1.5等級)が昇ってきます。近くには、すばるも見えます。そのあと、冬の大三角といわれるオリオン座のベテルギウス、おおいて座のシリウスがあらわれ、白いシリウス以外は赤色なので豪華な星空です。24日が新月、27日が三日月ですので、月もなく星がよく見えます。

皆さんも寒いですが、秋の夜長、凜とした空気を吸われてはいかがでしょうか。

すすめておいて恐縮ですが、寒がりの私は夜毎コタツにくるまって熱燗を頂きます。

以上、秋の気候の話、副会長あいさつにかえさせていただきます。

## 卓 話

### 「ロータリー財団を活用しよう」

講師 地区ロータリー財団委員会  
委員長 高山 景一様(豊橋 RC)



本日は、ロータリー財団月間にあたり、ロータリー財団へのご理解を深めて頂けるよう卓話をさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。皆さまからの大切なお寄付がどのように使用されているかを、説明致します。

まず、ロータリー財団とは、1917年6月18日、アトランタで開かれた第8回ロータリー年次大会で、当時の会

長アーチ・クランプは「世界で良いことをするための基金を作るのが、極めて適切であると思われる」と、自身の構想を発表しました。その1ヶ月後に寄せられた、26ドル50セントの寄付で始まった基金は、1928年、「ロータリー財団」と改称され、今日に続いています。ロータリー財団のその使命はロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解・親善・平和を達成できるようにすることで、その役割は、ロータリークラブ及び地区を通じて実施される、承認された人道的及び教育的活動支援のために寄付を受け付け、資金を分配するのが、ロータリー財団の役割です。

地区の財団委員会のプログラムを順に説明致します。

まずはポリオプラスです。END POLIOの映像をご覧ください。

また、10月24日に世界ポリオデーとして、全世界でポリオ撲滅のイベントを行いました。2760地区では10月25日に南山カントリークラブにて、チャリティーゴルフコンペを行いました。また、2023年4月15日(土)、16日(日)にはワールドフードふれ愛フェスタ(WFF)が行われます。ここで集めたお金で、移動図書館をパキスタンに寄付をしています。

続きまして教育への支援という事で、平和フェロシップとグローバル補助金奨学生のご説明です。まず、平和フェローですが、世界8つの大学と提携している「ロータリー平和センター」では、世界平和と紛争予防の担い手を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築いています。世界中の多くの応募者の中から、毎年、最高130名が平和構築のために勉強しています。当地区からは、しばらく奨学生を送り出していないので、候補者がいましたら推薦をお願いします。

地区補助金の活用のお願いです。地区補助金には、地区補助金とグローバル補助金の2種類がございます。申請時に「地区とクラブの覚書」(MOU)を会長と会長エレクトが署名をした書類を提出して頂きます。授与と受諾の条件には、事業に際して「やってはいけないこと」注意書きが記載されています。どちらも、しっかりとお読み頂き、遵守して頂かなければなりません。続いてシェアシステムの説明です。財団では、3年の資金サイクルを採択しております。年次基金を3年間資金として運用し、その運用益は財団の運営費に使われます。3年後、その元金の半額が地区財団活動資金(DDF)と言われるものです。そしてその半分が国際財団活動資金(WF)です。そしてさらにこの地区財団資金の半分が地区補助金として使う権利があるという事です。また、この半分がグローバル補助金として使われます。2つの補助金について具体的にご説明致します。地区補助金は、比較的小規模で短期間のプロジェクトを支援致します。地元や海外で今すぐ必要とされる支援に取り組む事が必要です。今年度から各クラブの申請可能額を設定させて頂きました。クラブの3年前の拠出頂きました、年次基金寄付の総額25%を今年度使って頂けるように設定させて頂きました。2023-24年度の貴クラブの地区補助金申請可能額は4,000\$です。お早目に2023-24年度の事業立案に取り

かかって頂きます様、宜しくお願い致します。

これまでのルールと大きく変わり、明確になりました。25%はそれぞれのクラブが納めた年次基金寄付ですから、まずは、その補助金を活用して事業を構築してください。これまでとルールを変更し、クラブの拠出金はマストではなくなります。申請可能額のみでの事業が可能です。クラブ拠出金を上乗せすれば、さらにもっと大きな事業が可能です。地区補助金を積極的に申請して奉仕事業を行って下さい。

次に毎年補助金委員会で頭を悩ますテーマが継続事業と寄贈事業です。

継続事業についてですが、先程申し上げました、授与と受託の条件の制約事項に、特定の受益者に過度の支援をしてはいけないと書いてあります。今年度は委員会で議論を重ねた結果、内容が昨年と同じだけれども、受益者が違えばOK。また、受益者が同じでも内容が違えばOKとしております。申請可能額を設けさせて頂いた事で限られた条件の中、よりインパクトのある奉仕事業を構築して頂きたいという想いから、ルール改正させて頂きました。続いて、寄贈事業です。地区補助金というのは、ロータリアンが汗を流して地域に貢献するという事を大きな目的として作られたシステムですので、ただ物を差し上げるだけでは地区補助金として認められないという風に考えています。ロータリーが積極的に参加する事が求められていますので、事業目的達成のために必要な資材・機材の整備が伴う事業はOKです。

今年度の地区補助金事業を、コロナに負けずに実行してください。規模の縮小など、変更点がある場合はご相談ください。また、今年度の地区補助金事業を、地区公共イメージ向上委員会に伝えるとともに、HPやSNSで広報してください。

グローバル補助金事業です。グローバル補助金事業は、長期的で持続可能な影響をもたらす事業、予算30,000\$以上、海外のクラブと協力、地元地域の人々が特定した重要なニーズに取り組む事です。この「持続性をいかに担保するか」ということが重要なポイントです。加えて、「ロータリー重点分野の少なくとも一つに一致する活動を含む」プロジェクトでなければなりません。皆様すでにご存知かと思いますが、2021年7月より重点分野に『環境』が加わり“7分野”となりました。これまで日本は、主に「援助国」側でしたが、『環境』については、日本も「実施国」となり得る分野だと思えます。今年度から、当地区のDDF配分ルールが変わりました。変更前は、クラブは1円も出さずに申請することができましたが、今年度からは、クラブ拠出金が必要です。そのため、理事会に諮る必要が出てきます。地区補助金の申請には期限がありますが、グローバル補助金はいつでも申請ができます。ただし、必ず事前に「RID2760 地区財団活動資金申請書」を提出してください。

職業研修チームです。Vocational Training Teamの略でVTTと呼ばれます。専門家チームを海外に派遣して研修を行う。または、専門家チームを国内に招聘して研修を行うプログラムです。

続きまして、グローバル補助金奨学生です。以前はどのような分野でも奨学金を申請することができましたが、未来の夢計画導入によって、ロータリーの重点分野に限定されました。

最後に財団の資金の説明です。財団は皆様のご寄付で成り立っていると申し上げましたが、寄付の分類には、年次基金、ロータリー災害救援基金、ポリオプラス、恒久基金、その他基金があります。詳しくは、「寄付・認証の手引き 2022-23年度版」をご覧ください。

ロータリーカードの紹介をさせていただきます。ご覧の種類があり、いずれも、カードの種類に応じて、利用額の0.3%または0.5%等が自動的にポリオ根絶の支援金となります。

本日は、とくに、右側に書いてあるダイナースクラブのクラブカードのご案内させていただきます。今年度は、クラブカードの他に、地区補助金事業用として、ネット等での支払いに利用できる「地区補助金専用口座に紐づけしたカードを作成してください」とお願いしています。とくに使用されているのが、「例会費」、「人頭分担金」、「財団寄付」の支払いです。これだけでも、結構な金額になると思います。

最後にロータリー財団を是非ご活用ください。そして、財団に寄付したものがどのように使われているかご理解頂き、おひとり150\$ポリオプラス30\$にご寄付頂きます様、何卒、宜しくお願い致します。ご清聴ありがとうございました。



## 健康診断

